

単元名 おとの スケッチ(3)

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、設定された条件に基づいて即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつことができる
- (3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

01070303_001

【教材名】きらきらぼし（歌唱 器楽） ほしのおんがくをつくろう（音楽づくり）
～P. 59)

(P. 58)

【準備等】範唱CD、鍵盤ハーモニカ、鉄琴

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～4 「きらきらぼし」を歌や鍵盤ハーモニカで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「きらきらぼし」を聴唱法で歌い、学習課題をつかむ。 ★ほしのおんがくをつくろう 歌詞唱や階名唱で歌う。 鍵盤ハーモニカで演奏する。 <p>○鉄琴で演奏する。</p> <p>○鍵盤ハーモニカと鉄琴で合わせて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほしのおんがく」をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・つくり方のルールを確認する。 ・スタートの音を選ぶ。 ・星を結んで星座をつくる。 ・最後にウンを入れる。 (例) ソファソファミレド など <p>○「ほしのおんがく」を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・拍に合わせて演奏する。 </p> <p>○発表を聴いて、自分の旋律を見直す。</p> <p>○グループでリレーする。 <ul style="list-style-type: none"> ・拍にのってリレーする。 ・リレーの順番を変える。 ・最後は3人で重ねて演奏して終わる。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定着するまで繰り返し歌わせる。 ・楽譜の各段の3，4小節目を鍵盤ハーモニカで演奏させる。 ・階名で歌うグループと鍵盤ハーモニカで演奏するグループと役割を分け、交替しながら繰り返し演奏させる。 ・楽譜の各段の1，2小節目を鉄琴で演奏させる。 ・階名で歌うグループと鍵盤ハーモニカで演奏するグループと役割を分け、交替しながら繰り返し演奏させる。 ・2小節ずつ交代しながら、鉄琴と鍵盤ハーモニカで演奏させる。 ・教科書P. 59の「どれみのほし」を結んで星座をつくると、4分音符（タン）7つと4分休符（ウン）1つの旋律をつくることのできるこれは「きらきらぼし」のはじめ「ドドソソラソ（ウン）」などの旋律と同じリズムになる。つくった音楽は、鍵盤ハーモニカで確かめさせる。自分で確かめられない児童には教師が弾いて聴かせるとよい。 ・戻ったり音をとばしたりしないよう、確認する。 <p>【評】短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くできた児童の作品を紹介し、戸惑っている児童の参考にさせる。 ・工夫したところやこだわりを発表させる。 <p>【共通事項】拍</p> <p>【評】旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて演奏する活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表のよかったところを参考に、自分のつくった旋律の手直しをさせる。 <p>【共通事項】旋律</p> <p>【評】設定された条件に基づいて、音を選んだり、できた旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる活動を通して「技能」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人程度のグループで活動させる。 ・グループ全員のリレーが終わったら、最後は同時に重ねて演奏するように伝える。 ・星の様子を表す音になっているか、グループで音の出し方なども工夫させる。 <p>【共通事項】音の重なり</p> <p>【評】旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】